

常任委員会の活動

総務 常任委員会

空き家対策

Q 空き家対策の状況はどうか。

A 中部地震の影響により空き家対策協議会の招集が遅れているが、年度内には会議を開き特定空き家、空き家バンクについて話し合っていきたい。

総務課

Wi-Fi の整備

Q 公共施設の Wi-Fi 整備はどう進めるのか。

A 国の補助金を活用し、本庁と支所と、避難所を含む防災施設や公共施設で考えている。

総務課

移住定住の助成

Q 町外からの転入はどうなっているのか。

A 18 家族が新居新築補助を活用し移住した。転入者数が新居新築補助金予算を上回るので補正予算を組んだが、まだ増える見込みである。今後の再補正も考えられる。

企画情報課

これからの利用方法はどうする



中山地区羽田井の活性化センター

12月8日、税務課の滞納対策の取り組みや地籍調査課の進捗よく状況など所管する各課の事務調査を行った。11日には劣化が進む名和総合運動公園の陸上トラックを視察した。また、利用者の少ない活性化センターの活用については、子供から大人まで楽しめるラジコンサーキットにしてはとの意見もあった。

ふるさと納税

Q 自主組織の運営費にふるさと納税を導入をするのか。

A 平成 30 年度から納税者が指定した地域自主組織に寄付したふるさと納税の 3 分の 1 を自主組織の運営費として考えている。

企画情報課

徴収の人員

Q 徴収の人員配置は大丈夫か。

A 職員 1 名減、徴収員 1 名減になっている。課税配置の人にも徴収にまわってもらっている。また財産調査も行い法的手段での徴収も行っている。

税務課

どこまで進んだ地籍調査

Q 進捗よく状況換算で平成 55 年ごろに終了予定だが。

A 来年の 1300 年祭で職員が減っている。再任用の制度などを提案し、進めていきたい。

地籍調査課

教育民生 常任委員会

保育所入所者数

Q増加の要因は。

A転入による増加ではない。今後増加の可能性はある。未満児が増加している背景は、収入の3割程度が社会保障費として徴収され、働かなければ生活が困難な現状だ。

幼児・学校教育課

公民館のあり方

Q将来、統合はあるか。

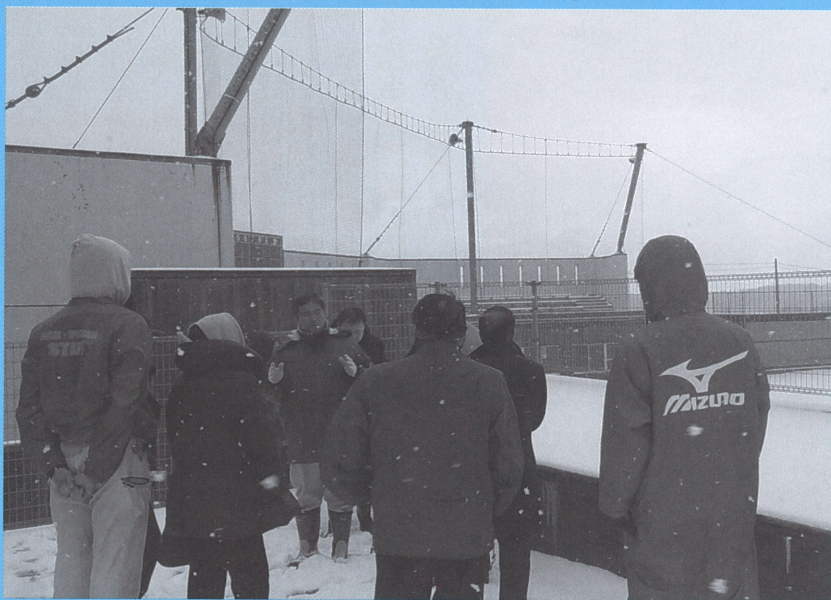
Aまだ、検討はしていない。地域自主組織からは、運営を任せてほしいという声もある。関係する地域や自主組織、企画情報課を交えた話をこれから始める。



老朽化する大山公民館

人権・社会教育課

今後の整備の方向性は



大山野球場

委員会は12月8日、11日の2日間、平成29年度補正予算などについて、所管する各課から説明を受け、質疑を行った。
また、12月12日に大山保育所、大山農村環境改善センター、大山野球場、高麗体育館、大山公民館の現地視察を行い現状を確認した。

国民健康保険税

Q税額の決定はいつか。

A平成30年度以降、県が全県下の状況を加味して、1月に町に総額を通知し、これをもとに町の保険料を決めて行く。所得の確定後、5月の臨時会に保険料率を提案する。

住民生活課

敬老事業などの統合

Q統合及び簡素化の考え方は。

A敬老事業の単価が安いと言われている。敬老事業はほとんどの集落が実施し、小地域保健福祉活動も進んでいる。煩雑な申請を簡素化したので、集落で取り組んで欲しい。

福祉介護課

人間ドックの状況

Q本年度の申し込み状況は。

A対象者数1421人で定員が通常の間人ドックが300人、大山ドックが220人で募集した。申し込みは人間ドック278人(93%)、大山ドック118人(54%)で、昨年より増加した。

健康対策課

経済建設 常任委員会

歩道除雪の強化

Q歩道除雪の状況は。

A町保有の除雪機は7台あり、それぞれ民間に作業委託している。新規に導入された除雪機1台は、名和地区の学校周辺に導入する。

建設課

1300年祭へ向けた取り組みは

Q事業予定は。

A5月20日の開創法要をはじめ、5月から11月にかけて、「開く・遊ぶ・灯す・調ふ」の4つの構成で様々なイベントを開催する。また、JR西日本のキャンペーンと連携し、大山の知名度向上をはかっていく。



いよいよ始まる 1300年祭

観光商工課

安全性高まる交通インフラ整備



町道坊領向原線橋梁上部工事現場

12月8日・11日の2日間、所管する各課から説明を受けた。
11日午後から、町道坊領向原線橋梁上部工事現場、蔵岡渡しの潜水橋、参道ステーション、コモレビト、南光河原トイレの現地視察を行った。12日に大山恵の里公社との懇談会を行い、現状と課題について意見交換を行った。また、議会閉会中の12月25日に平成29年度事務事業評価の説明を、農林水産課、観光商工課から受けた。

新たな地域おこし協力隊

Q農業部門の募集の現状は。

A募集部門は、ブロッコリー、白ネギ、梨。募集人員は3名で募集中である。募集期間は平成29年11月～平成30年2月で、面接は随時行っている。活動開始は平成30年4月以降となる。

農林水産課

遊休農地の再生

Q取り組みの現状は。

A遊休農地の具体的な再生方法などは、毎月、「人・農地担当チーム会議」で協議し、有利な補助事業などを活用しながら関係機関が一体となった取り組みを行い、農地や地域の実情に即した再生をはかっていく。

農業委員会

劣化した下水道施設の修繕

Q施設修繕料の増額の内容は。

A名和处理区大雀のポンプ建屋の修繕である。潮の影響で腐食が進んでいる。57万1千円を追加し、塩害に強い木造での建て替えを検討している。

水道課